

J-PULSE ニュースレター

№4 2006年7月12日

J-PULSE (Japanese Population-based Utstein-style study with basic and advanced Life Support Education) 研究班の活動も最終年度を迎えました。これまでに得られた心原性院外心停止の実態を踏まえ、心臓突然死患者さんの救命率向上を図るための具体的な取り組みを行い、その効果を検証していく予定です。

各テーマの進捗状況をお伝えします

J-PULSE 1: 院外心停止症例の全データを集計解析するシステムの構築作業を引き続き行っています。ウツタイン大阪プロジェクトで得られた院外心停止症例の臨床データから、心臓マッサージのみの心肺蘇生の有効性の検討を進めています。同時に、心臓マッサージのみに単純化した蘇生法講習会の教育効果に関する研究も進めています。また、前向き研究として、救命都市高槻キャンペーンを行い救命意識向上を目的とした地域キャンペーン及び心肺蘇生法講習会の効果の検討を行いました。最終年度はこれらの結果を踏まえ、地域キャンペーンと心臓マッサージのみに単純化した講習会を組み合わせることで bystander CPR 実施率を向上させ、AED が有効に機能する地域を作ることを目的に J-PULSE-C を開始しました(右記)

J-PULSE 2: 難治性心室細動に対する 群抗不整脈薬のニフェカラントのエビデンスを確立するため、レジストリ研究を開始しました。

J-PULSE 3: 救急車と救急病院をインターネットでつなぎ、病院外での救急医療の質の向上を実現するシステムの開発(モバイルテレメディシン)をすすめています。2006年3月17日には報道発表会を行いました。

J-PULSE 4: 心肺蘇生と AED に関する国際的に標準化された教育システムの導入と効果の検証を進めています。

J-PULSE 5: 大動脈疾患による院外心停止の実態の検証を進めています。

アリゾナ大学 Dr.Ewy 大阪でご講演 2006年6月10日(土)

心臓マッサージを連続して絶え間なく行うことの重要性を古くから指摘され、心肺蘇生領域の研究の世界的権威であるアリゾナ大学医学部サーバー心臓センターの Gordon. A. Ewy 教授のご講演が大阪で開催されました。心肺蘇生のガイドライン改定の背景、さらにガイドラインの先を行く知見も交え、心臓マッサージの重要性、圧迫解除の重要性等をわかりやすく解説してくださいました。



『院外心停止者の救命率向上に対する自動体外式除細動器を用いた心肺蘇生法の普及とエビデンス確立のためのウツタイン様式を用いた大規模臨床研究』(主任研究者:野々木 宏)
Japanese Population-based Utstein-style study with basic and advanced Life Support Education

救命都市高槻キャンペーンの結果報告 Vol. 1

AED を有効に機能させて院外で心停止となった方々を救命するためには AED を設置するだけでなく、市民の方々の救命に関する意識、AED に対する認知を高めていく必要があります。J-PULSE 研究班では、大阪府高槻市(人口 35 万 8 千人)をモデル地域として、市民の方々の救命意識を高めることを目的に、2005 年 12 月から 3 ヶ月間、『あなたの勇気がいのちを救う 救命都市高槻キャンペーン』と銘打って、市民公開講座の開催、ポスターやちらし、高槻市の広報やメールマガジン等を通じての情報提供などの心肺蘇生法と AED 普及に関するキャンペーンを行いました。また、このキャンペーンの効果を評価するために、およそ 1000 名の方々にご協力いただき、キャンペーン期間の前後で救命に関する意識がどのように変化したかを調査しました。

AED を知っているという方はキャンペーン前 51.2%だったものが 79.4%にまで上昇していました。しかし、実際に AED を使用してみようと思うという方は 37.0%から 43.2%とキャンペーン前後でほとんど変化が見られず、AED の使用を含め救命処置への参加意欲を向上させるためにはこうした地域キャンペーンのみでは不十分でした。一方、このキャンペーン期間中に心肺蘇生法講習に参加された方々の救命処置への参加意欲はキャンペーン前に比べて 4 倍ほど向上していました。これらの結果は、今後学会等でも報告していく予定です。

今回の調査結果から、市民の方々の救命意識を高めることを目的としたキャンペーンには一定の効果が期待できるが、実際の救命処置への参加を促すためには講習会などさらに強力な介入が必要であると考えられました。本キャンペーンが全国的に救命意識の向上をはかる取り組みが展開されていくきっかけになればと考えています。

JR 高槻駅前街頭 PR を行う三島救命センター森田先生



市民の救命意識を高めるキャンペーン第 2 弾 =J-PULSE-C=

『あなたの勇気がいのちを救う:CC-CPR(心臓マッサージ強化)キャンペーン』

上述のとおり、救命都市高槻キャンペーン(J-PULSE-T)の結果から、『救命処置への参加意欲は、地域キャンペーンに加えて、講習会に参加することで更に向上する』ということがわかりました。しかし、心肺蘇生講習会開催には多大な時間とコストがかかります。J-PULSE 研究班では、J-PULSE-T および心停止の現場に居合わせた市民が行う心肺蘇生は心臓マッサージのみでも人工呼吸付の従来の心肺蘇生法と同等の効果があるとの臨床データを踏まえ、心臓マッサージのみに単純化した心肺蘇生法の普及に向けたキャンペーンを展開する予定です。今回はテレビ CM を用い地域キャンペーンの範囲を近畿全域に広げるとともに、心臓マッサージだけでもよいので救命処置に参加してほしいと呼びかけることで市民の救命処置への参加を促す予定です。ちなみに J-PULSE-C の“C”は Continuous Chest Compression の頭文字です。研究班では、多くの方々に講習会を提供できるように、心臓マッサージと AED の使用方法のみに単純化した 1 時間程度のコンパクトな心肺蘇生法講習会を作成し、提供していきたいと考えています。テレビ CM は 8 月より読売テレビで放映される予定です。皆様、是非ご覧下さい。



J-PULSE 事務局:
国立循環器病センター 心臓血管内科 野々木部長室
〒565-8565 吹田市藤白台 5-7-1 FAX:(06)6872-8100 ホームページ: <http://j-pulse.umin.jp/>